ヘルクレスロープ，ナフレックスロープ，タフナフレックスロープなどのように内層と外層とが反対方向によってあるロープを解く場合には，特に注意が必要です。

ロープによりが入れば，図4-4 (1)のように下層ロープが飛出し，またよりが戻れば(2)のようにかご状になり，ストランドが浮き上がります。

したがって，よりが狂わないように取付作業時に注意して下さい。またロープ心入りやストランド心入りロープの取扱いも，上記に準じて注意して下さい。

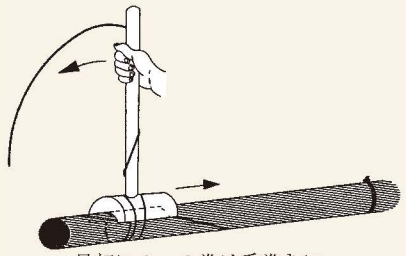
5 シージングの方法

ロープを必要な長さに切るときは，よりの緩みを防ぐために，切断箇所の両側にシージングを施してから切って下さい。たとえ不反発性よりロープであっても，切口をたたきつけたりしますと，よりが緩んで，ロープ損傷の原因となりますから，表4-2によってシージングを施して下さい。

表4-2　ロープ径とシージング

ロープ径(mm)	シージングワイヤ(mm) (使用上の目安を示したもの)	シージングの長さ (6ストランドの一般ロープについてのもの)
～ 10	単　線　0.6 ～ 1.2	・シージングの長さは，ロープ径の2～3倍を標準とする。 ・ロープ径と同じ長さを近接して，2～3か所としてもよい。
12 ～ 30	単　線　1.0 ～ 2.0	
32 ～ 40	より線　2.0 ～ 3.0	
42 ～	より線　2.6 ～ 3.6	

・ナフレックスロープ ・3～4ストランドロープ ・ピッチの長い特殊ロープ	非自転性ロープは，完全な不反発よりでない場合が多いのでシージングの長さを標準より長くする。
・ロックドコイルロープ	8～10か所シージングを行う。



最初に2～3巻は手巻きにし，次に道具で巻付けます。

図4-5　シージングの方法

なお，シージングは手巻きではなく，図4-5に示すような道具（カクシバなど）を使って堅く巻くことが肝要です。